

二級水系流域治水プロジェクトの 策定・改訂について

令和5年3月16日

福井県二級水系流域治水協議会

令和4年度二級水系流域治水プロジェクトの策定について

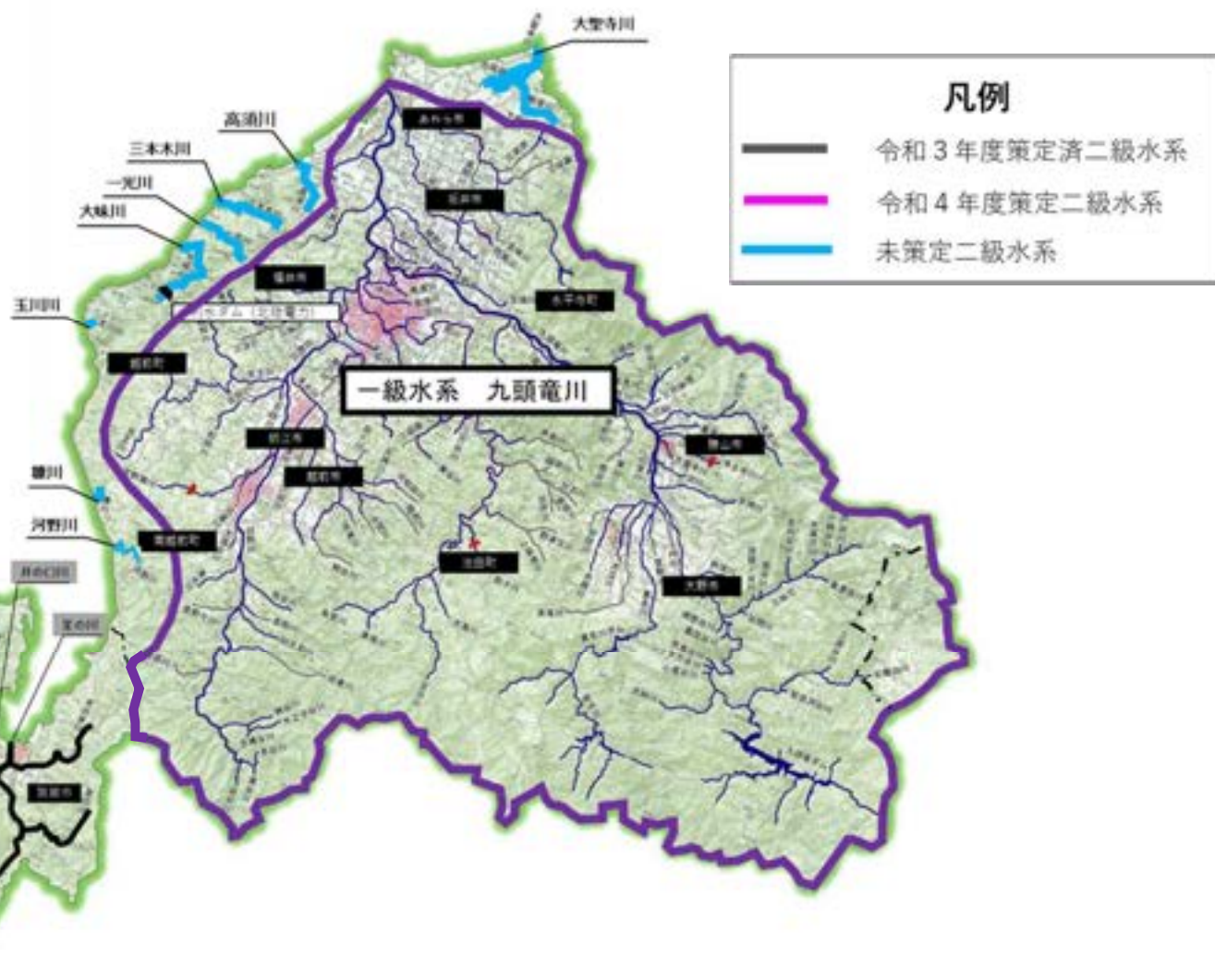
- 令和4年度は、**流域治水ワーキンググループの検討対象であり、一定規模以上の流域面積がある水系**（耳川水系、南川水系、佐分利川水系）について流域治水プロジェクトを策定する。
- 未策定の二級水系については、令和5年度に策定する。

水系名	河川名	流域治水プロジェクト策定	流域面積(km ²)	流域内市町
大聖寺川	大聖寺川		36.5	あわら市 (石川県加賀市)
高須川	高須川		13	福井市
三本木川	三本木川		12.8	福井市
一光川	一光川		17.1	福井市
大味川	大味川		29.8	福井市
玉川	玉川		2.7	越前町
糠川	糠川		10.8	南越前町
河野川	河野川		32	南越前町
笙の川	笙の川	済	163.1	敦賀市
井の口川	井の口川	済	28.4	敦賀市
落合川	落合川		6.8	美浜町
馬背川	馬背川		8.2	美浜町
太田川	太田川		5	美浜町
耳川	耳川	○	83.3	美浜町
早瀬川	早瀬川	済	94	若狭町 美浜町
南川	南川	○	211	小浜市 おおい町
多田川	多田川	済	14	小浜市
飯盛川	飯盛川		2.2	小浜市
本所川	本所川		5	小浜市
佐分利川	佐分利川	○	45	おおい町
子生川	子生川		6.6	高浜町
関屋川	関屋川		22.5	高浜町

福井県内二級水系:22水系

令和3年度流域治水プロジェクト策定:4水系

令和4年度流域治水プロジェクト策定:3水系



○令和3年7月大雨や令和4年8月大雨では県内各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、耳川水系においても事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、超過洪水発生時の浸水被害を軽減する。



● 耳川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】山林や河道内の適切な維持管理をして行くとともに、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（浚渫・樹木伐採含む）	福井県 美浜町			
	森林整備	福井県 美浜町 れいなん森林組合 森林整備センター 等			
	砂防関係施設の整備	福井県			
	田んぼダムの整備 ため池の事前放流	美浜町	(検討・調整)		
	雨水貯留浸透施設の整備	福井県 美浜町	(検討・調整)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	美浜町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	美浜町			
	関係者間の情報共有体制の確立	美浜町			
グリーンインフラの取組	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援	美浜町			
	ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	美浜町			
グリーンインフラの取組	河川生物の生態系に配慮した河川維持管理	福井県			
	小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習	美浜町			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある

○昭和28年台風13号や昭和46年台風23号など、古くから浸水被害があった南川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、超過洪水発生時の浸水被害を軽減する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

(令和5年3月公表)

● 南川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】砂防堰堤等のハード整備や山林、河道内の適切な維持管理を実施するとともに、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（浚渫・樹木伐採含む）	福井県 小浜市 おおい町			
	森林整備	福井県 小浜市、おおい町 れいなん森林組合 森林整備センター等			
	治山施設の整備	福井県	整備予定施設完成 （名田庄三重）		
	砂防関係施設の整備	福井県	整備予定施設完成 （猪木谷川 他）		
	田んぼダムの整備	小浜市 おおい町	（検討・調整）		
	雨水貯留浸透施設の整備	福井県 小浜市 おおい町	（検討・調整）		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	小浜市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	小浜市			
	関係者間の情報共有体制の確立	おおい町			
	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	小浜市 おおい町			
グリーンインフラの取組	河川生物の生態系に配慮した河道工事・維持管理	福井県			
	小学校で稚魚の放流体験による河川環境学習	小浜市			
	アユの人工産卵場造成 小わが魚道の整備・保全	おおい町			

気候変動を
踏まえた
更なる対策を
推進

(令和5年3月公表)

- 佐分利川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】砂防堰堤等のハード整備や山林、河道内の適切な維持管理を実施するとともに、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	河川整備（浚渫・樹木伐採含む）	福井県 おおい町			
	森林整備	福井県 おおい町 れいなん森林組合 森林整備センター 等			
	砂防関係施設の整備	福井県		整備予定施設完成 （西谷川 他）	
	田んぼダムの整備 ため池の事前放流	おおい町	（検討・調整）		
	雨水貯留浸透施設の整備	福井県 おおい町	（検討・調整）		
被害の軽減、早期 復旧・復興のための 対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	おおい町			
	関係者間の情報共有体制の確立	おおい町			
グリーンインフラ の取組	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の 避難訓練実施の支援	おおい町			
	ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	おおい町			

気候変動を
踏まえた
更なる対策を
推進

○平成25年9月台風18号などで、甚大な被害が発生した早瀬川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 早瀬川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】本支川の河川浚渫により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
- 【中期】水月湖から日本海への放水路整備により、三方五湖の水位上昇に伴う浸水被害を防止する。
- 【中長期】流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策、減災対策等を引き続き実施する。
あわせて、監視カメラ画像、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（湖岸堤・放水路・河川浚渫・堤防強化）	福井県 美浜町 若狭町	湖岸堤・放水路完成		
	森林整備	福井県 若狭町 れいなん森林組合 森林整備センター等	山腹工完成		
	砂防関係施設の整備	福井県	砂防堰堤完成	（検討・調整）	
	雨水貯留浸透施設の整備	若狭町 美浜町	（検討・調整）		
	田んぼダムの整備・ため池の事前放流	若狭町	（検討・調整）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	若狭町 美浜町			
	関係者間の情報共有体制の確立	若狭町 美浜町	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援	若狭町 美浜町			
	ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	若狭町 美浜町			
グリーンインフラの取組	ヨシ原等水際部の植生環境の再生に配慮した河川工事	福井県 若狭町 美浜町			
	小中学校で川の生き物調査等による河川環境学習 浅場造成によるシジミの生育環境の再生	若狭町 美浜町			

■河川整備
事業費：約50億円※
対策内容：放水路 等
※河川整備計画の残事業費

気候変動を
踏まえた
更なる対策を
推進

○昭和40年9月台風24号などで、甚大な被害が発生した多田川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、河道拡幅
- ・森林整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・田んぼダムの整備
- ・雨水貯留浸透施設の整備 等

■ 被害対象を減少させるための対策

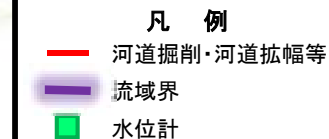
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・避難行動のための情報発信
- ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
- ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
- ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・水位計・量水標、監視カメラ設置
- ・地域防災マップの作成支援
- ・地域・企業の連携による避難場所の確保
- ・水防資機材の配備
- ・コミュニティタイムラインの作成支援
- ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
- ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
- ・内水ハザードマップの作成 等

● グリーンインフラの取組み

- ・ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持 等



森林整備
(流域内各地)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 多田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】多田川の河道掘削・河道拡幅により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
- 【中期・中長期】流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策、減災対策等を引き続き実施する。あわせて、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（河道掘削・河道拡幅）	福井県 小浜市	河道掘削・河道拡幅完成(多田川)		
	森林整備	福井県 小浜市 れいなん森林組合 森林整備センター 等			
	砂防関係施設の整備	福井県	(検討・調整)		
	雨水貯留浸透施設の整備	小浜市	(検討・調整)		
	田んぼダムの整備	小浜市	(検討・調整)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	小浜市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	福井県 小浜市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	小浜市	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持	福井県 小浜市			

■河川整備
事業費:約40億円※
対策内容:河道掘削、
河道拡幅
※河川整備計画の残事業費

気候変動を
踏まえた
更なる対策を
推進